

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	総務市民局安全・安心部安全・安心課
評価対象期間	平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立交通安全センター	施設類型	目的・機能
	所 在 地	北九州市小倉北区井掘五丁目 1 番 1 号		
	設置目的	交通安全に関する知識の普及および交通安全思想の高揚を図る		
利用料金制		<input checked="" type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
指定管理者	名 称	特定非営利活動法人タウンモバイルネットワーク北九州		
	所 在 地	北九州市小倉北区浅野二丁目 1 4 番 2 号		
指定管理業務の内容		1 交通安全センターの維持管理 2 交通安全センターに配置する自転車の貸し出し等 3 自動車、自転車車庫の維持管理 4 施設内における警備、監視 5 施設内の展示物、備品等の管理 6 施設内における交通安全教室の開催 7 施設外（保育園、幼稚園、小学校等）における交通安全教室の開催 8 施設の特徴を生かした交通安全イベントの実施		
指定期間		平成 2 1 年 4 月 1 日～平成 2 6 年 3 月 3 1 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点																																	
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		37																																	
	(1) 施設の設置目的の達成																																				
	計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																																				
	利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	35	4	28																																	
	施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																																				
[評価の理由、要因・原因分析]																																					
<p>家族で楽しく学べる交通安全イベントを継続して実施するとともに、関係機関と連携しながら、交通安全教室を数多く開催している。また、効果的かつ効率的な広報に努めるなど、利用者の再来場を図る取組みを積極的に行っている。</p> <p>平成 21 年度事業は計画どおり実施され、参加者や関係者等から高い評価を受けている。</p> <p>自転車運転免許証制度の推進</p> <p>交通ルールや安全運転知識に関する講習会を受講後、学科と実技の試験合格者に免許証を交付するもので、市や警察など各関係機関と連携しながら、主に小学校高学年を対象に実施している。</p> <p>交付者数 18 年度：383 人、19 年度：510 人、20 年度：309 人、21 年度：455 人</p> <p>交通安全教室の開催</p> <p>21 年度の教室開催は、開催回数 408 回(前年度比 49 回増)、受講人員 25,971 人(同 2,541 人増)となっている。</p>																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th rowspan="2">委託</th> <th colspan="4">指定管理</th> </tr> <tr> <th colspan="3">期</th> <th>期</th> </tr> <tr> <th>17 年度</th> <th>18 年度</th> <th>19 年度</th> <th>20 年度</th> <th>21 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園内教室 (受講人員)</td> <td>140 回 (4,523 人)</td> <td>91 回 (3,419 人)</td> <td>307 回 (15,208 人)</td> <td>267 回 (13,801 人)</td> <td>304 回 (15,781 人)</td> </tr> <tr> <td>園外教室 (受講人員)</td> <td>82 回 (11,313 人)</td> <td>76 回 (10,169 人)</td> <td>93 回 (8,815 人)</td> <td>92 回 (9,629 人)</td> <td>104 回 (10,190 人)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>222 回 (15,836 人)</td> <td>167 回 (13,588 人)</td> <td>400 回 (24,023 人)</td> <td>359 回 (23,430 人)</td> <td>408 回 (25,971 人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>20 年度は、7 月末～10 月上旬に園内路面の大規模改修工事を実施し、利用を大幅</p>					区分	委託	指定管理				期			期	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	園内教室 (受講人員)	140 回 (4,523 人)	91 回 (3,419 人)	307 回 (15,208 人)	267 回 (13,801 人)	304 回 (15,781 人)	園外教室 (受講人員)	82 回 (11,313 人)	76 回 (10,169 人)	93 回 (8,815 人)	92 回 (9,629 人)	104 回 (10,190 人)	計	222 回 (15,836 人)	167 回 (13,588 人)	400 回 (24,023 人)	359 回 (23,430 人)	408 回 (25,971 人)
区分	委託	指定管理																																			
		期				期																															
	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度																																
園内教室 (受講人員)	140 回 (4,523 人)	91 回 (3,419 人)	307 回 (15,208 人)	267 回 (13,801 人)	304 回 (15,781 人)																																
園外教室 (受講人員)	82 回 (11,313 人)	76 回 (10,169 人)	93 回 (8,815 人)	92 回 (9,629 人)	104 回 (10,190 人)																																
計	222 回 (15,836 人)	167 回 (13,588 人)	400 回 (24,023 人)	359 回 (23,430 人)	408 回 (25,971 人)																																

に制限したことが影響している。

入園者は、数値目標 195,400 人を約 2 千人超えており、前年度と比較して約 2 万 5 千人増加している（1 日当たり 83 人増加）。年度推移をみても着実に増加傾向にある。また、自転車の貸し出し台数も、前年度と比較して約 1 万 7 千台増加し（1 日当たり 59 台増加）同様に増加傾向にある。

区分	委託	指定管理			
		期			期
	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
入園者数 （1 日当たり）	153,100 人 （510 人）	173,870 人 （572 人）	186,121 人 （608 人）	173,102 人 （571 人）	197,658 人 （654 人）
自転車貸し 出し台数 （1 日当たり）	72,035 台 （240 台）	80,990 台 （266 台）	88,320 台 （289 台）	82,215 台 （271 台）	99,620 台 （330 台）

20 年度は、7 月末～10 月上旬に園内路面の大規模改修工事を実施し、利用を大幅に制限したことが影響している。

広報活動については「市政だより」への掲載をはじめ、各報道機関等に対しても積極的に情報提供を行ったほか、毎月「交通公園だより」を発行し、内容の充実にも努めている。また、参加者募集にあたっては、対象施設や団体等を絞ってチラシ等を配布するなど、効果的かつ効率的な PR を実施している。

（2）利用者の満足度

利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	15	3	9
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
利用者への情報提供が十分になされたか。			
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

〔評価の理由、要因・原因分析〕

職員の接遇研修等の実施やイベント等の充実により、利用者へのサービス向上を図った。

利用者アンケートの結果（平成 21 年度実施）

スタッフの対応 非常に満足 38.7%、満足 43.3%、不満 1.0%

今後の利用の意向 利用したい 86.0%、利用したくない 10.0%

園内に「ご意見箱」を設置して市民からの苦情や要望などを的確に把握し、サービス向上に反映させている。

交通公園のリーフレットを作成、配布したほか、「市政だより」にてイベント情報を提

供している。また、毎月「交通公園だより」を発行し、内容の充実にも努めている。
 職員の指導力等の向上を図るため、ほとんどの職員に自転車安全教育指導者資格を取得させているとともに、利用者本位の接遇研修を実施している。

2 効率性の向上等に関する取組み	3 0		2 4
(1) 経費の低減等	3 0	4	2 4
施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。			
清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

交通安全学習に市民ボランティアの協力を得るなど、人件費の抑制を図っている。

パート・臨時職員の雇用や市民ボランティアの協力により人件費の低減を図っている。

清掃、警備、設備保守業務の再委託については、類似業務の一括発注や複数の業者から見積りを徴するなど経費節減に努め、適切な水準で実施されている。

区 分		20 年度	21 年度	増 減
収入（管理運営委託料）		27,378 千円	27,350 千円	28 千円
支出（事業費）		27,360 千円	27,325 千円	35 千円
収 支		18 千円	25 千円	7 千円
参考	事業費のうち人件費	22,265 千円	22,147 千円	118 千円
	事業費のうち委託料	1,315 千円	1,315 千円	-
	その他の事業費	3,780 千円	3,863 千円	83 千円
	利用者 1 人当たり事業費	158 円	138 円	20 円

指定管理実施前の委託料（平成 17 年度 43,105 千円）と比較すると、15,755 千円（36.6%）の大幅な経費削減効果が生じている。

(2) 収入の増加			
収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	-	-	-

[評価の理由、要因・原因分析]

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	2 0		1 2
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況	1 0	3	6
施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合			

理的であったか。			
職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）			
地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>来場者の多い土日祝日に人員を多く配置するなど、業務量に応じた体制としている。</p> <p>職員 10 名(法人兼務職員 2 名含む)のうち 8 名に自転車安全教育指導者資格を取得させており、職員の資質向上を図っている。</p> <p>学校、警察、老人クラブなど、地域や関係機関等と協力しながら、交通教室などの各種事業を実施している。特に、警察との連携を強化している。</p>			
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。			
利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。	1 0	3	6
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>利用申込書等から得た個人情報は、施錠可能なキャビネット等に確実に収納し、原則として事務室からの持ち出しを禁止している。</p> <p>申し込みの受付は先着順とし、平等な利用に配慮している。</p> <p>収支の内容を確認したところ、不必要な支出など不適切な点は認められない。</p> <p>園内の施設・設備等について、毎日、目視等による安全点検を定期的実施し、園内の事故防止に努めている。</p> <p>事務室に緊急連絡先を掲示し、緊急時の対応等を職員に徹底している。</p> <p>子どもが怪我をした場合のマニュアルを作成し、職員に周知させている。</p>			

【総合評価】

合計得点	7 3	評価ランク	C
<p>[評価の理由]</p> <p>1 家族で楽しく学べるイベントなどを多数開催し、再来場を図る取り組みを重ねている。</p>			

あわせて効果的な広報を続けた結果、来園（利用）者が順調に増加している。

- 2 関係機関と連携しながら、自転車運転免許証制度の推進をはじめ、自転車の安全利用の指導やマナーアップ等の啓発など、積極的に交通安全教育に努めている。また、参加者や関係者からも高い評価を得ている。
- 3 管理運営体制において市民ボランティアの活用などにより人件費を抑制している。また、ほとんどの職員に自転車安全教育指導者資格を取得させているなど、職員の質の向上を図っている。
- 4 利用者アンケートによる調査結果では、スタッフの対応が高く評価され、再来場を希望する人の多さが目立っている。

【今後の対応】

近年、自転車の事故防止が大きな課題となっているなか、自転車の安全利用の推進は、今後ますます重要となる。引き続き、交通安全センター（交通公園）を本市の自転車交通安全対策の核として位置づけ、本市、警察、関係機関との連携を図りながら、指導啓発活動等に取り組んでいく予定である。

指定管理者には、こうした実情を十分に認識のうえ、入園者の増加を図るとともに、より一層、交通安全教育の充実に努めることを期待する。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		
5	100%	良 い	目標（計画）を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている
4	80%		目標（計画）を上回る管理運営がなされている
3	60%	普 通	目標（計画）どおり適正に管理運営がなされている
2	40%		目標（計画）を下回る管理運営がなされている
1	20%		目標（計画）を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる
（合計得点が90点以上）
- B：総合評価の結果、優れていると認められる
（合計得点が80点以上90点未満）
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
（合計得点が60点以上80点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
（合計得点が40点以上60点未満）
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
（合計得点が40点未満）